

◎自動車整備業分野に係る経営力向上に関する指針(概要)

【現状認識・目標】

- 総整備売上高は約5兆5,000億円(平成27年度調査)で平成7年度調査の約6兆6,000億円ピークに下降傾向にある。
- 新技術の発展により自動車の高度化が進んでおり、自動車整備業においても新たな設備、機器及び工具の導入等の対応が必要となっている。
- 自動車整備事業者は安全確保、環境保全の観点から、点検整備の実施の重要性等を自動車の使用者に周知する必要がある。

【目標とする指標及び数値】 ※いずれかを選択

● 労働生産性（基本方針による指標に同じ）

労働生産性の計画期間中の伸び率につき、5年間の計画の場合2%以上、4年間の計画の場合1.5%以上、3年間の計画の場合1%以上とする。

※労働生産性とは、営業利益、人件費及び減価償却費の合計を、労働投入量(労働者数又は労働者数×一人当たり年間就業時間)で除したものとす。

● 点検整備在庫台数増加率（自動車整備業分野特有の指標）

点検整備に係る在庫台数の計画期間中の伸び率につき、5年間の計画の場合2%以上、4年間の計画の場合1.5%以上、3年間の計画の場合1%以上とする。

● 業務関連資格等の取得（自動車整備業分野特有の指標）

整備要員数の1/4以上の者が、計画期間中に自動車整備業分野における事業分野別経営力向上推進機関が推奨する業務関連資格を取得し、又は、同機関が推奨する研修を受講することとする。

【経営力向上の内容】

- 自らの事業実施状況のうち改善すべき点を把握した上で、目標達成に取り組むこととする。なお、整備作業等の質を低下させないこと等に留意すること。

<取組方法の整理> 以下の取組方法の整理はあくまで参考とする例であり、事業場として有効なものを取り組むことも可能である。

人に関する事項	財務管理に関する事項	営業活動に関する事項	設備投資やITの利活用等に関する事項	省エネルギーの推進に関する事項
<ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成 ● 能力に応じた人員の最適化 ● 従業員満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ● コストの把握・効率化 ● 業務の標準化 ● 業務量に応じた人員配置の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 点検整備に係る販売の促進 ● 顧客のニーズに応じた整備作業等の実施 ● 付加価値の向上 ● 他業種及び他の事業者との連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資に関する事項 ● ITの利活用に関する事項 ● ロボットの導入 	エネルギー使用量の見える化等